

地域いきいき健康マップ

伊香立
地区

produced by 大津市スポーツ推進委員協議会

1 伊香立公園



芝生グラウンド、テニスコートの他に、屋根付きのグラウンド以外に、滑り台や鉄棒などの遊具がある。豊かな自然の中で多彩なスポーツに親しむことができる。自然の風が心地よい。

問い合わせ先…TEL.077-598-2016

2 八所神社



創建は天智天皇の大津京遷都の頃。祖神は天大吉備諸進命(あめのおおきびのもろすみのこと)。その後、七柱の神を追祀され「八所神社」と名付けられた。1557年、日吉大社の二柱の分霊が主祭神として祀られる。

3 香の里史料館

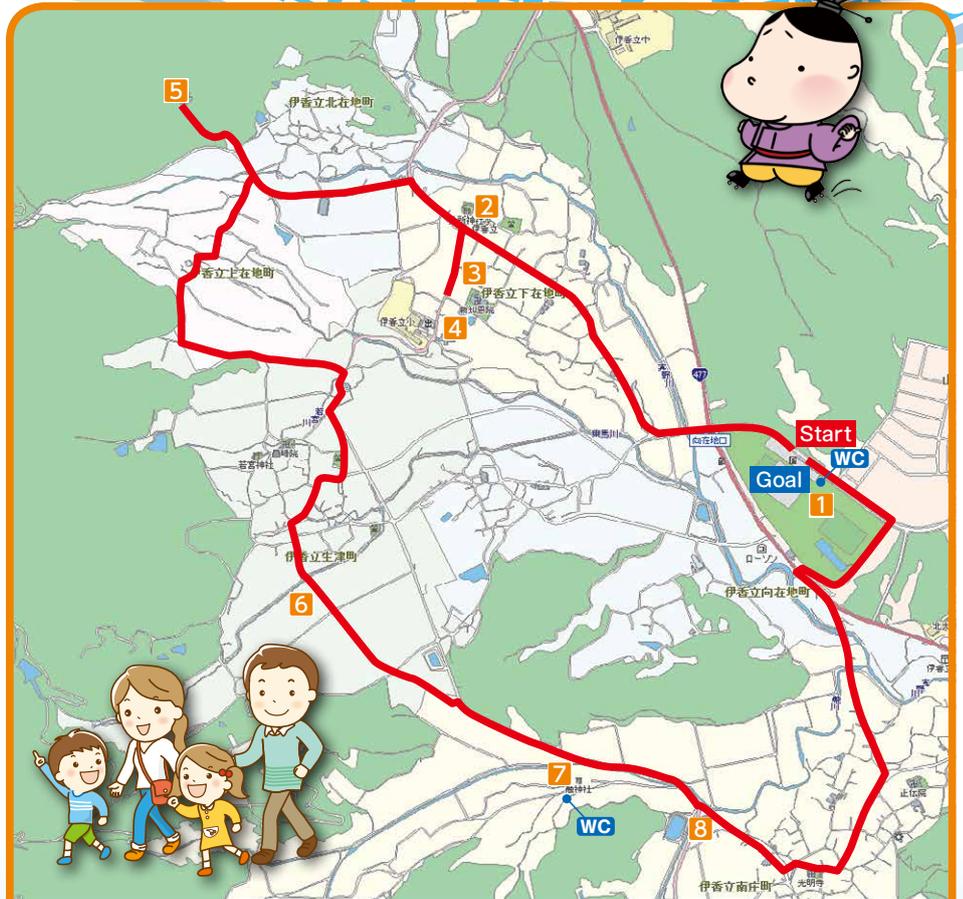


伊香立の失われつつある農村の暮らしぶりを後世に残したいとの思いから、昔ながらの茅葺き農家の家と生活様式を再現。農機具、林業用品等の展示、学校をイメージした多目的研修室もある資料館。平成15年3月開館。

4 新知恩院



応仁元年(1467)に始まる応仁・文明の乱により、京都東山の浄土宗総本山知恩院は炎上するが、そのとき法然上人の御影を始め多くの寺宝が上在地の金蓮寺に移された。その後堂宇を山号にして大谷山華頂寺新知恩院と名付けた。



Start : 伊香立公園 Goal : 伊香立公園

距離 : 約8km 目安消費カロリー : 330kcal / 50kg ・ 430kcal / 65kg

5 慈眼寺



宮倉山の中腹にあり「高観音」と呼ばれ、遠く琵琶湖を望む高台の御堂には、伊香立では最古の仏像で平安時代伝教大師の作と言えられる聖観音立像(国宝重要文化財)が安置されている。この像は、もと比叡山飯室谷の不動尊に安置されていたものを夢のお告げで現在の地に移され、当時、疫病で困っていた人々を救済されたと伝えられている。

6 梅の香通り



景観形成に取り組むまちづくりの一環として平成8年、北川の堤防沿いに紅白の梅の木を植樹。みんなの親しめる通りにしようと、愛称名を募り「梅の香通り」と名付けられた。秋には町内あげて育てたコスモスの花が咲き乱れ、通る人たちの心を和ませてくれる。春には梅の香り、秋にはコスモスの彩りが楽しめる。

7 融神社



当時嵯峨天皇第12皇子であった源融公の荘園であった社地に、源融(822~895)が閑居を設け、そこに鏡一面を埋めた。その後、945年に伊香立の荘官が鏡を掘り出し神爾とし、源融を祭神として祀った。相殿としてその母大原金子を祀っている。祭礼は4月29日と9月1日。

8 融神社御旅所



御旅所の碑があり、融神社の4月29日春祭りに行われる神輿渡御の休憩所となっている。少し高台になっており、見晴らしが良くまた近くに東屋があり、休憩することができる。

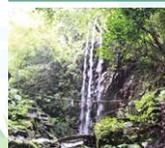
マップ外の周辺
オススメスポット!!

伏龍祠跡碑



約200年前の文化元年に、龍家の先祖によって約40万年前の東洋象の化石が発見されたところ。現在、化石は東京の国立博物館に保存されている。平成6年3月にレプリカが完成し、香の里史料館に展示されている。

歓喜院



貞観5年(863年)相応和尚により開かれる。2月3日の節分会、7月15日の白瀧祭、9月1日の八潮護摩法要が有名。奥の院の不動明王は、33年に一度開帳。ここから眺めるびわ湖の眺望は素晴らしく、春は桜、夏は冷涼、秋は紅葉等々絶景の地である。